

令和7年12月10日

静岡歴研

第171号

会報

静岡県歴史研究会

発行人 須山忠治

令和7年6月11日(水)

第144回研究会

須山・長坂両氏発表

気象庁は東海地方の梅雨入りを発表したが、曇天の空模様、雨は一向に降らない日々が続いている。

本日は令和7年度第1回目の研究発表会が静岡市歴史博物館内講座室にて午前11時より開催された。本日の発表は須山忠治氏の「北条綱成(福島一族の生き残りか)」についてと長坂良治氏の「浮世絵の歴史」と題しての研究発表があった。本日の参加者は12名内会員外が1名である。

須山忠治氏発表

「北条綱成」

「福島一族の生き残りか」

須山氏は駿府ウェイブの所属し、1年ほど前に「小田原北条の会」との打ち合わせに使った資料に基づいて発表した。その内容を以下の通り要約する。

I. 戦国大名二家「後北条氏で今川氏に繋がる人々」

① 北川殿

今川義忠の後室であり氏親の生母。父は幕府直臣伊勢盛定。伊勢新九郎(後の北条早雲)と姉弟の関係?享徳3年(1454)頃生まれる。文明元年(1469)頃、義忠と結婚。文明5年(1471)龍王丸(今川氏親)を生む。享禄2年(1529)頃死去する。今川家と北条家の繋がり of きっかけをつくる。

2028年は北川殿 没後500年になる。静岡市はイベントを予定しているとのこと。

② 伊勢新九郎盛時

康世元年(1456)頃生れ?司馬遼太郎は北川殿の兄としているが一般的には2歳下の弟と言われている。伊勢新九郎は文明8年(1476)と長享元年(1487)に起こった今川家の内訌を治めた。

延徳3年(1491)伊豆堀越公方茶々丸を追放。明応4年(1495)小田原大森藤頼を攻め小田原を奪取する。永正16年(1519)8月15日 韮山城にて没す。